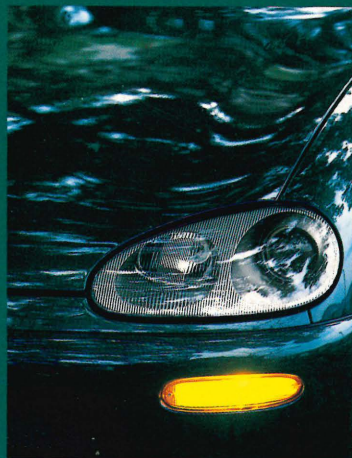


Cappuccino

ALL ALUMINIUM, EPI TWINCAM TURBO ENGINE



昭和48年～平成6年国内軽自動車新規届出台数(全軽協資料よりスズキ調べ)

風は足りてますか。

光や風を、日本の四季を、全身で感じながら走るフルオープン2シーター。
そして人の運転感覚に自然になじむFRレイアウト。
軽自動車唯一のオールアルミ製ツインカムターボエンジンを新搭載し
オートマチックトランスミッションを新採用。
内装も一新して大きな進化を遂げた新型カプチーノ。
あなたの心に、魔法の風を運びます。



オープンマインド2シーター

New Cappuccino — 誕生
カプチーノ

Styling & Interior

オープンな日々を、どうぞ。新型カプチーノ誕生。

満開の桜並木、避暑地の緑のトンネル、燃えるような紅葉のワインディングロード、陽射しのやわらかな冬の海岸通り。閉じていた屋根を開いて、爽やかな風とひとつになると、季節はもっと輝きます。オープンエアモータリングの魅力は明快。ふりそそぐ陽光や風の匂い、街のざわめきや高原の冷気が、ドライバーの五感に直接ふれて、しかも刻一刻と変化しつづけるのです。退屈など、ありません。たぶんこの世には、この人生には、一度は乗っておきたいクルマというのが、存在するに違いありません。密室の窓越しに見る、テレビ画面に切り取られたような風景に飽き足らない日。ただ目的地に到達するためではなく、純粋に走りの愉しみを満喫したい時。それはきっと、あなたの心がときめきを求めている印です。



ボディカラー：ダークターコイズグリーンメタリック(Y33)



■ 専用バケットシート

適度な堅さを持ち、乗る人をサイドからしっかりとサポート。カプチーノと一体になれるホールド感です。シート表皮は、味わい深いファブリックを新採用。大きなチェッカーのセンター部に小さなチェッカーをレイアウト。もちろん撥水加工ですから、少々の雨にも安心です。

ボディカラー：アンタレスレッド(Y28)



■ 夢が生んだスタイリング

カプチーノは、現代的なマーケティング理論から生まれたクルマではありません。こんなクルマに乗りたい! という若い開発者の夢が、そもそもの出発点。彼らはまず、自分たちの信念をスタイリングで表現しました。コンパクトでありながら深い味わいをもつクルマ。最新テクノロジーを前提としながら、必要とあらばあえて手造りをも辞さないこだわりが、そこには生きています。基本のフォルムは、ラインの流れではなく、かたまりの美しさをテーマに。コンパクトなクルマの存在感を徹底して考えぬいた結果です。また流行にとらわれないロングノーズ&ショートデッキのフォルムは、乗る人とクルマのバランスがよく、人が乗るとより輝く造形です。

ボディカラー：マーキュリーシルバーメタリック(1VN)



■ 4WAYオープントップ(量産車世界初)

①フルオープンアルミ製リヤピラーと熱線入りバックウィンドーガラスを後ろに倒してキャビン後部に収納できます。その収納スペースを小さくするため、2段階の回転収納式に。②タルガトップハードトップを全部はずし、リヤピラーとバックウィンドーは起こした状態。小粋に走れます。軽いアルミ製3分割ルーフですから女性でも取扱いが簡単。ルーフは専用ケースでトランクに。③Tバールーフ3分割ルーフの中央部を残したTバールーフ。気軽に自然との語りを楽しめます。ハードトップの脱着は、前後のロックレバー操作だけ。④ハードトップ雨の多い日本だからこそのシール性などの耐候性が重要。幌ではなくハードトップだから、クロズドボディと同等の耐候性を維持できます。



①フルオープン



②タルガトップ



③Tバールーフ



④ハードトップ

■ 熱線入りバックウィンドーガラス

ハードトップなので、塩化ビニールではなくガラスのバックウィンドーを採用することができました。もちろん熱線入り。



■ 熱線吸収グリーンガラス

炎天下など、ハードトップを装着していてもまだ陽射しが強烈すぎる時。このガラスが太陽光線をやわらげてくれます。



■ パワーステアリング(AT車)

街乗りでの扱いやすさを高める全域制御の電動パワーステアリング。低速域では軽く、高速域では操作が安定します。



■ シフトレバー(3速AT/5速MT)

新採用の3速オートマチックと5速マニュアルが選べます。MTはストローク40mm/セレクト幅30mmのショートストローク。



■ グローブボックス(キー付)

グローブボックスはキー付とし、できる限りの容量を確保。この中に、ボンネットフードオープナーをセットしました。



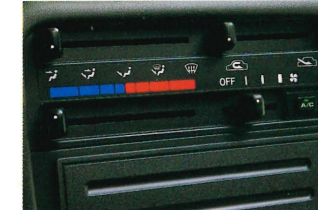
■ チルトステアリング(MT車)*1

ステアリング位置を上下に調節。シートリクライニング&スライドと合わせ、自然なドライビングポジションが得られます。



■ エアコン

ハードトップ装着時はもちろん、フルオープン時も快適。オールシーズンに対応します。新冷媒HFC134aを採用。



■ コンソールボックス(キー付)

コンソールボックスもキー付。フューエルリッドオープナーと、新採用のトランクリッドオープナーを中にセット。



■ パワーウィンドー

有料道路や駐車場の料金などで便利。メーターの右側に、誤操作を防ぐウィンドーロックスイッチを新採用しました。



■ スポーツペダル&フットレスト

FR(フロントエンジン・リヤドライブ)だからホイールハウスの張り出しが小さく、自然な位置にペダル類をレイアウト。



■ トランクスペース

2人分の手荷物を収納できる容量を確保。ハードトップを外したら、専用パネルケースを用いてトランクに収納できます。



*1 運転席エアバッグ装着車にはチルトステアリングは装備されません。*2 ハードトップ装着時掲載写真の色は印刷のため実際と異なる場合があります。詳しくは販売店にお問い合わせ下さい。

Engine & Mechanism

夢のエンジンを新搭載。新型カプチーノ誕生。

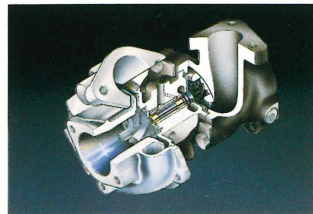
あの走りのスペシャリスト“ワークス”に、軽自動車でも初めて搭載されたオールアルミ製ツインカムターボエンジン。しかも軽自動車初の16ビットマイクロコンピューターによるフル制御(SHIC)^{※1}までも採用した夢のエンジン「K6A型」が、ついにカプチーノに新搭載されました。ロングツーリングのハイウェイで、週末のワインディングロードで、その驚くべきパワーを存分に味わってみませんか。

■ 軽自動車最軽量のオールアルミ製ツインカムターボエンジン

ヘッドカバーからロアケースまですべてをアルミ製とし、従来のF6A型エンジンより11kgも軽量化。しかも軽自動車でも初めてシリンダーブロックのスカート部とロアケースを一体構造にして剛性を高め、騒音と振動を抑え込みました。アルミ製シリンダーブロックには軽自動車初の圧入セミウェットライナーまでも採用。レーシング技術というべきウェットライナー方式により冷却性能と信頼性を高め、ツインカムターボのハイパワーとピツ

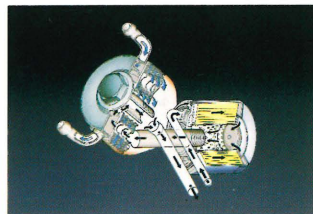
■ 水冷式ターボチャージャー

ターボの最大過給圧を、従来の0.9kg/cm²から1.1kg/cm²へ大幅にアップ。いままでの軽自動車で最高の最大過給圧。



■ 水冷式オイルクーラー

高回転時にもオイル性能を十分に引き出し、ターボ効果をフルに発揮。またオイル劣化を抑え耐久性と信頼性を高めます。



グトルクを余すところなく発揮します。またカムが直接バルブを駆動する直打式を採用し、ロッカーアームを無くして、軽量化とメカニカルロス低減を実現。ショートストロークとあいまって、高回転域までなめらかに吹き上がります。さらに新タイプの複合センサーで制御の精度を高めたEPI、インタークーラーターボなど、高性能を物語る最新メカニズムを満載したスポーツエンジン。これは、スズキの小型エンジン技術が達成した最高の成果です。

■ 16ビットマイクロコンピューターがエンジンをフル制御するSHIC^{※1}

従来比約5倍の処理速度でドライバーの意思や運転状況を感じし、エンジンとターボ過給圧を集中制御。各気筒ごとに最適な噴射タイミングと点火タイミングを予測し、ドライバーのイメージ通りの走りを実現します。加速はなめらかで、騒音と振動も低減。またノック制御が各気筒ごとに行われるため、エンジンはつねに能力をフルに発揮。燃費も向上します。

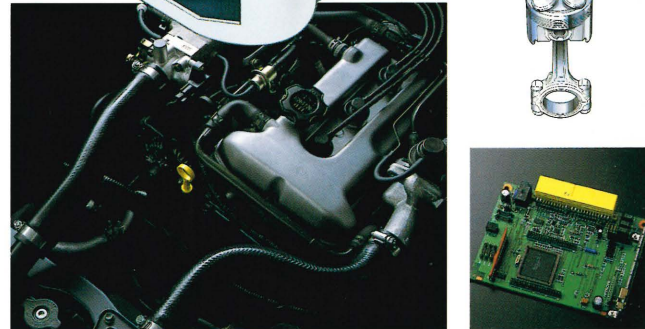
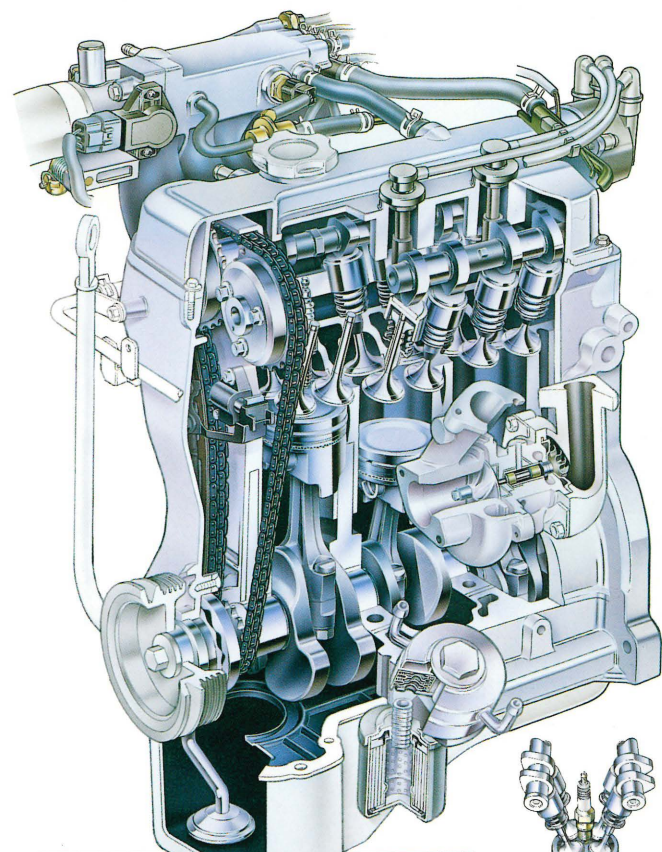
■ 大型インタークーラー

ターボで圧縮され高熱化した空気を冷却。高密度の空気をシリンダーに送り込みます。エアインレットで冷却効果をアップ。



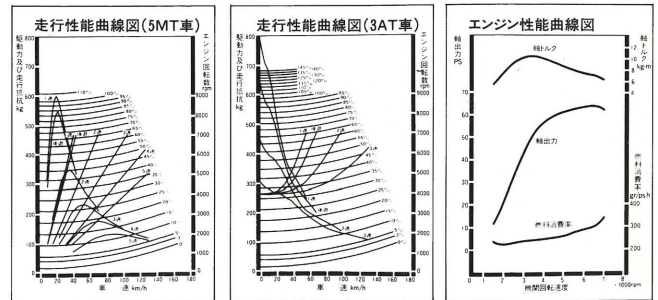
■ 小径φ12白金スパークプラグ

安定した着火性能と耐久性を合せもつ白金スパークプラグを採用。小径タイプですから、バルブ面積を大きくとれます。



最高出力(ネット)^{※2} 最大トルク
64ps / 6,500rpm • 10.5kg-m / 3,500rpm

^{※2} ネットとはエンジンを車両搭載状態とほぼ同じ条件で測定したものです。



^{※1} Suzuki High-performance Intelligent Control

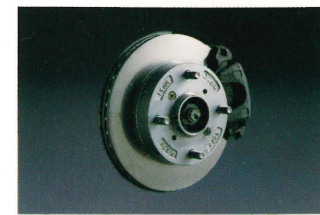
■ 運転席エアバッグシステム(注)

万一の前方向からの衝突時には、運転席エアバッグが瞬時にふくらんでドライバーを受け止め、衝撃をやわらげます。



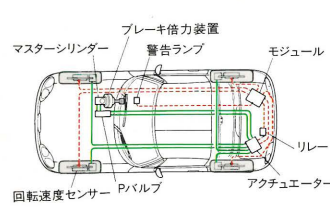
■ フロントベンチレーテッドディスクブレーキ

フロントは放熱効果の高いベンチレーテッドタイプ。山道などで激しい使用にもフェード現象を起こしにくく高性能を発揮します。



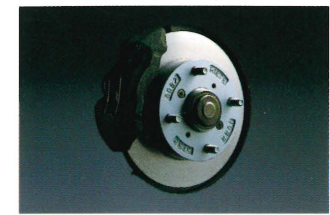
■ 3チャンネル4センサーの4輪ABS(注)

フルブレーキング時にもコンピューター制御で車輪のロックを防ぎ、車両の安定性を確保するアンチロックブレーキシステムです。



■ リヤディスクブレーキ

ディスクは前後とも大径13インチ。ブレーキパッドは非アスベスト材を使用。後輪の早期ロックを防ぐPバルブも装着しています。



■ 大径7インチバキュームサーボ

軽い踏力で大きな制動力を発揮。低膨脹タイプのブレーキホースの採用で踏み応え・調性感があり、フィーリングも良好。



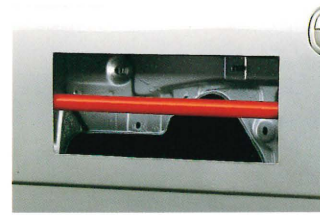
■ ELR3点式シートベルト

衝突時の保護システムとしては、3点式シートベルトが基本。未装着のドライバーには、シートベルト警告灯が注意します。



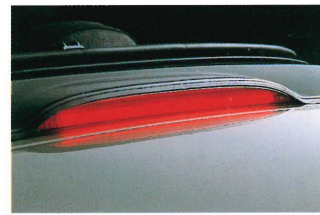
■ サイドアビーム

剛性の高いウルトラハイテンション鋼材のサイドアビームを両ドアに内蔵。横方向からの衝撃に対する強度を高めます。



■ LEDハイマウントストップランプ

高く見やすい位置に、明るいLEDタイプをセットしました。ブレーキングの意思を、後続車に確実に伝達します。



■ 高剛性&軽量スチールモノコックボディ

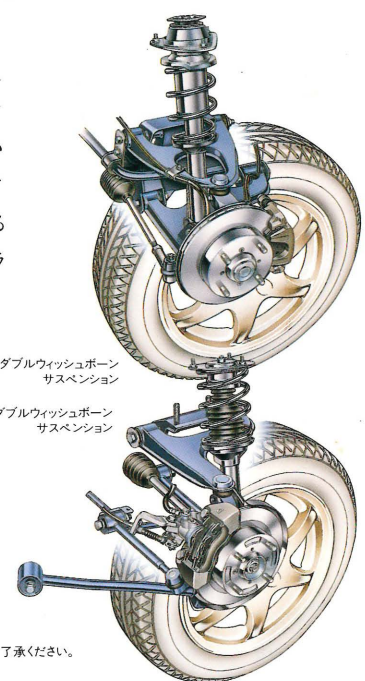
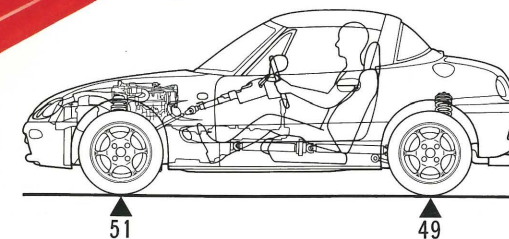
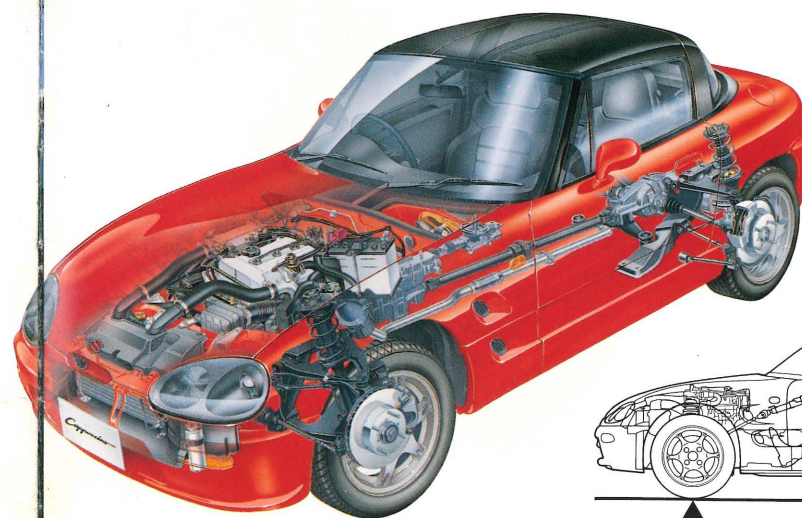
ボディ剛性は言うまでもなくクルマの全性能の基本。カプチーノはオープンボディだからこそ、ボディ性能を重視して徹底的に鍛えあげました。フロアトンネルとサイドシルを主要メンバーとして、スチールモノコックボディを形成。有限要素法によるコンピューター解析を駆使して、ボディ各部を効果的に強化。この高剛性を前提に、アルミパーツや高張力鋼板を多用してボディの軽量化を追求しています。さらにオールアルミエンジンにより、従来モデルより車体重量を10kg軽減しています。

■ 4輪ダブルウィッシュボーンのスuspension

セッティングの自由度が高いため、コーナリング時の対地キャンバーを理想の状態に近づけることが可能。旋回性能が向上します。またサスペンション剛性が高く、ステアリングフィールも向上。FRの素性のよさが生かされ、アクセルワークが愉しめます。しかもサブフレームを介してボディに搭載しているため、操縦性と安定性が高次元で両立されています。ショックアブソーバーは前後ともガス封入式。新設計6本スポークアルミホイールは1個当り800g軽量化され、バネ下重量が軽減されています。

■ 前後重量配分51:49

前輪と後輪の重量配分がほぼ等しい51:49(2名乗車時)という理想的なボディバランスを実現しました。車体の重心がホイールベースのほぼ中央に位置するため、コーナリング中に前後輪に加わる遠心力にアンバランスがなく、ニュートラルなステアリング特性を発揮します。



(注) 運転席エアバッグ、4輪ABS、LSDはセットでSMT車にメーカーオプションとなります。メーカーオプションはご注文時に申し受けます。ご注文後はお受けできませんのでご了承ください。

^{※1} エアバッグシステムはシートベルトを着用した上での補助安全装置です。運転の際にはシートベルトを必ず着用してください。
^{※2} エアバッグシステムは横方向や後方からの衝突、横転および転覆、低い速度の衝突など前方からの衝撃が小さい場合や一度エアバッグが作動したあとの衝突には作動しません。
^{※3} 4輪ABSは、あくまでもドライバーの操作を助けるシステムです。コーナリングの手前では十分な減速が必要です。安全運転をお願いします。
^{※4} 4輪ABSが作動している時は車体、ステアリングホイール、ブレーキペダルから振動や作動音を感じることがありますが、これは正常な作動状態です。

2人しか乗れないし、荷物もたくさんは積めない。フルオープンエアの走りが本当に快適な時期も、実は僅かかもしれない。

でも、それでもいいサと言ってくれる方に、カブチーノは微笑みます。

安楽や軟弱さとは一線を画した、その潔さが、ドライビングの喜びを純粹なものにしてくれるのです。

特権ともいえる走りの愉しさは、誰にも真似ができません。心になにかを感じるなら、決して躊躇するなかれ！ 手に入れずに後悔するより、

手に入れて苦楽を共にするほうが、はるかに潔い生き方とは思いませんか？

大切な人と素敵な空間を共有する前に、大切な情報を、じっくりご確認ください。

Equipment 主要装備

タイプ	2シーターフルオープン	
トランスミッション	5速マニュアル	3速オートマチック
快適装備		
エアコン(抗菌処理タイプ)	●	●
パワーステアリング(全域制御型)	●	●
パワーウィンドー	●	●
インストルメントパネル		
透過式メーターパネル照明	●	●
タコメーター	●	●
トリップメーター	●	●
ウレタンステアリングホイール	●	●
チルトステアリング	●※1	●
フルエアミックス空調システム	●	●
シガーライター	●	●
インテリア		
サイド兼用サンバイザー	運転席・助手席	運転席・助手席
防眩式ルームミラー	●	●
3ポジションルームランプ	●	●
ドラッグクリッドオープナー	●	●
フェンダーリッドオープナー	●	●
フロントビラードリム	●	●
ドアトリム	パッドウェルダ	パッドウェルダ
フロア・ラゲッジカーペット	ニードルパンチ	ニードルパンチ
シート		
フロントシート	●	●
シート表皮	フルファブリック	フルファブリック
シートクライニング	●	●
ELR3点式シートベルト	●	●
シートベルトガイド	●	●
ポケットリア		
グローブボックス(キー付)	●	●
コンソールボックス(キー付)	●	●
アシシュレー	●	●
エクステリア		
熱線吸収カラーガラス	グリーン	グリーン
回転収納式バックウィンドーガラス	●	●
熱線入りバックウィンドーガラス	●	●
異型4灯LEDヘッドランプ(ロービームは70ワットタイプ)	●	●
ターンオーバー式ドアミラー	●	●
テックチャイルドトップ(3分割式)	●	●
間欠ワイパー	●	●
大口径マフラーテール	●	●
カードバンパー・ドアミラー・ドアハンドル	●	●
脱着式ロードアンテナ	●	●
その他		
サイドアビーム	●	●
LEDハイマウントストップランプ	●	●
キー抜き忘れ警告ブザー	●	●
ライト消し忘れ警告ブザー	●	●
シートベルト警告灯	●	●
アッレスト	●	●
フロントベンチレーテッドディスクブレーキ	●	●
リヤディスクブレーキ	●	●
4輪ABS(アンチロック・ブレーキ・システム)	▲※2	▲※2
運転席エアバッグ(ステアリングは4本スポークタイプ)	▲※2	▲※2
LSD(リミテッド・スリップ・デフ)	▲※2	▲※2
アルミホイール	●	●
タイヤ	165/65R14 79H ポテンザ RE96	

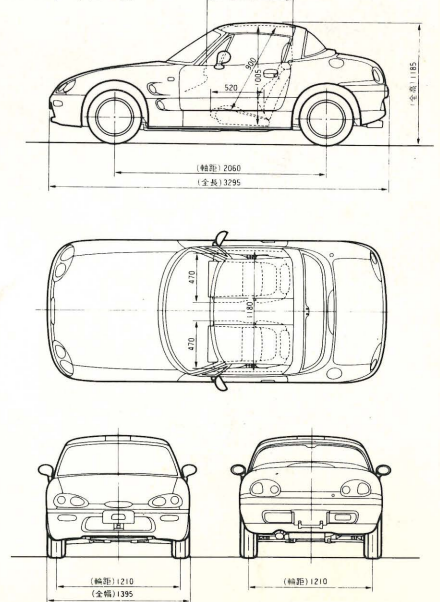
Specifications 主要諸元

タイプ	2シーターフルオープン		
車両型式	スキ E-EA21R		
トランスミッション	5速マニュアル	3速オートマチック	
機種記号	CAXF-3[CAXF-BA3]	CAXL-3	
寸法・重量			
全長(mm)	3,295		
全幅(mm)	1,395		
全高(mm)	1,185		
室内寸法(mm)	長さ	835	
	幅	1,180	
	高さ	1,005	
ホイールベース(mm)	2,060		
トレッド(mm)	前	1,210	
	後	1,210	
最低地上高(mm)	135		
車両重量(kg)	690[700]	700	
乗車定員(名)	2		
性能			
燃料消費率(km/ℓ)	10・15モード燃費(運輸省審査値)	20.0	
	60km/h時定地走行燃費(運輸省届出値)	31.0	
		17.0	
		26.0	
最小回転半径(m)	4.4		
エンジン			
型式	K6A型水冷直列3気筒インタークーラーターボ		
弁機構	DOHC 12バルブ		
内径×行程(mm)	68.0×60.4		
総排気量(cc)	658		
圧縮比	8.4		
燃料供給装置	EPI(電子制御燃料噴射)		
最高出力(ps/rpm)ネット	64/6,500		
最大トルク(kg-m/rpm)	10.5/3,500		
燃料タンク容量(ℓ)	30(無鉛ガソリン使用)		
動力伝達装置			
トランスミッション	前速3段 フランクロ 後速1段	電子制御前速3段 後速1段	
クラッチ	乾式単板ダイヤフラム	3速1段2軸形1対1コンバーター	
変速比	1速	3.478	2.727
	2速	2.021	1.536
	3速	1.352	1.000
	4速	1.000	—
	5速	0.790	—
後退	3.260	2.222	
最終減速比	5.125		
ステアリング歯車形式	ラック&ピニオン		
ブレーキ			
主ブレーキ	前	ベンチレーテッドディスク	
	後	ディスク	
制動倍力装置	真空倍力式		
制動力制御装置	プロポーション装置	プロポーション装置	
駐車ブレーキ形式	機械式後2輪制動		
懸架装置			
懸架方式	前	ダブルウィッシュボーン式コイルスプリング	
	後	ダブルウィッシュボーン式コイルスプリング	
スタビライザー形式(前・後)	トーションバー式		
タイヤ	165/65R14 79H		

- ※1 エアバッグ装着車はチルトステアリングの仕様はなくなります。
- ※2 4輪ABS、運転席エアバッグ、LSDはMT車のみセットでメーカーオプションの設定があります。メーカーオプションは、ご注文時に申し受けます。ご注文後はお受けできませんのでご了承ください。
- フェンダーミラー(黒色)装着車も設定しております。
- 速度警報ブザーは販売店装着オプションとなります。
- 納期は機種・ボディカラー・注文装備等により異なりますので、詳しくは販売店にお問い合わせ下さい。
- スペアタイヤは応急用タイヤになります。
- この仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

- []は4輪ABS、運転席エアバッグ、LSD装着車です。
- この仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- エンジン出力表示には、ネット値とグロス値があります。「グロス」とはエンジン単体で測定したものであり、「ネット」とはエンジンを車両に搭載した状態とほぼ同じ条件で測定したものです。同じエンジンで測定した場合、「ネット」は「グロス」よりも約10%程低い値(自工会調べ)となっています。
- モード走行時における燃料消費率の表示は、順次「10モード」から「10・15モード」に切替わります。「10・15モード」は都市内高速走行等が加味されているため、同じ車両で測定した場合「10モード」より平均的には7%程高い値(自工会調べ)となります。なお、これらの燃料消費率は定められた試験条件のもとでの数値です。実際の走行は、この条件(気象・道路・車両・運転・整備などの状況)が異なってきますので、それに応じて燃料消費率が異なります。

寸法図 単位：mm



安全は正しい運転と整備から

制限速度を守りましょう
(軽四車種は最高時速で)

80% 160%

シートベルトを忘れずに、スピードは控えめに安全運転。

●交通法規を守り安全運転を心がけましょう。●シートベルトは、同乗者も必ず着用しましょう。●無理、無謀な運転はやめましょう。●相手の立場を思いやる運転を心がけましょう。●法定の運行前点検・定期点検は必ずおこないましょう。

軽四輪自動車にも保管場所が必要です

もっと豊かに、もっとあなたらしく

Personal Best

SUZUKI

スズキ株式会社

本社：〒432-91 浜松市高塚町300
(95.6)99999-20300-210HNM